

令和7年度フィリピン共和国ダバオ市との廃棄物管理能力向上支援業務  
公募説明書

1 当該公募の趣旨

本業務は、北九州市が実施を予定している「令和7年度フィリピン共和国ダバオ市との廃棄物管理能力向上支援業務（以下、ダバオ事業）」のプロジェクトマネジメント及びダバオ事業で実施する訪日研修、専門家派遣の支援業務である。本業務の遂行にあたって、一般的な廃棄物管理に関する知見だけでなく北九州市の廃棄物管理やリサイクル技術に関する深い知見、訪日研修や専門家派遣のロジスティックス業務に関するノウハウを有していることが求められるため、特定の者を相手方とする契約手続きを行う予定としているが、当該特定の者以外の者で、下記の応募要件を満たし、本業務の実施を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書の提出を求める公募を実施するものである。

公募の結果、応募がない場合、応募があっても3の応募要件を満たすと認められる者がいない場合、応募要件を満たすと認められる者がすべて辞退した場合は、特定の者との随意契約の手続きに移行する。

なお、3の応募要件を満たすと認められる者がいる場合は、指名競争入札又は指名型プロポーザルを実施する予定である。

2 業務の概要

(1) 業務名

令和7年度フィリピン共和国ダバオ市との廃棄物管理能力向上支援業務

(2) 業務内容

本業務委託は、北九州市が「令和7年度フィリピン共和国ダバオ市との廃棄物管理能力向上支援業務（以下、ダバオ事業）」のプロジェクトマネジメント及びダバオ事業で実施する訪日研修、専門家派遣について支援業務を委託するもの。なお、本業務実施にかかる費用はすべて委託料に含む。

ア プロジェクトマネジメント業務

本事業の主要活動である訪日研修及び専門家派遣を円滑に実施するため、以下について行うこと

(ア) 本事業カウンターパートとの連絡・調整業務

- a カウンターパートであるダバオ市環境天然資源局(CENRO)、フィリピン環境天然資源省(DENR)、フィリピン環境管理局(EMB)ほか現地関係機関との各種連絡調整
- b WEB会議の設定、実施、議事録の作成

(イ) フィリピン政府及びダバオ市からの訪日研修受入業務

- a 研修案（行程、研修メニュー等）の作成及び関係者間での協議・調整
- b 招聘者の人選（概ね、4名）※人選については発注者及びフィリピン国側と協議のうえ決定
- c 訪日研修に係る関係者（研修生側、研修受入側）双方との連絡調整業務
- d 訪日研修に係る訪問先機関との連絡調整業務（視察・講義依頼、研修資料調整等）
- e 訪日研修に係る査証申請や航空券、宿泊先手配等のロジスティックス業務
- f 招聘者の日本滞在中の各種支援（緊急時を除き、勤務時間内に限る）

g 招聘者に対する事後アンケート（帰国後）の実施

(ウ) ダバオ市への専門家派遣業務

- a 専門家派遣に係る計画案（行程・活動案）の作成及び関係者間での協議・調整
- b 専門家の人選（概ね、2名）※人選については発注者と協議のうえ決定
- c 専門家派遣に係る現地カウンターパートとの連絡調整業務
- d 専門家派遣に係る航空券や現地車両手配等のロジスティックス業務
- e 専門家派遣に係る報告書の作成（現地活動中の議事録作成を含む）
- f 専門家派遣期間中のワークショップ開催に係る現地カウンターパートとの連絡調整業務

(エ) 報告書作成（事業結果について）

イ フィリピン政府及びダバオ市からの訪日研修受入業務

廃棄物管理の専門家による講義や実地研修により、廃棄物焼却発電施設の建設・管理・運営方法等について理解を深めるため、訪日研修を行うこと。なお、受入業務に関する条件は以下のとおり。

- (ア) 期間：令和7年5月から令和8年2月のうち、概ね、2週間程度
- (イ) 研修期間：上記期間のうち移動日を除いた約2週間
- (ウ) 招聘人数：概ね、4名
- (エ) 送迎：移動車両を手配し、招聘者を空港まで送迎すること。
- (オ) 宿泊：北九州市内で宿泊先を選定し、人数分×日数分手配すること。
- (カ) 研修場所：原則として北九州市内とする。北九州市外で研修が必要な場合、理由を含めて発注者と協議すること。研修場所の賃貸費及び研修期間中の交通費は委託料に含む。
- (キ) 研修内容：以下4点を含む内容で事前に発注者と詳細な協議を行い、決定すること。
  - a 講義や実地研修による廃棄物焼却発電施設の建設・管理・運営方法
  - b 市内環境関連施設やごみステーション、資源化物拠点回収現場の視察による資源循環システムの構築について
  - c EPR（拡大生産者責任）の仕組みについて
  - d Co2 排出量算定について
- (ク) 研修資料：研修資料は原則として英語とする。訪問先からの提供資料が日本語のみの場合は先方に了承を得たうえで英訳処理を行うこと。
- (ケ) 通訳：研修期間中、必要に応じて日英通訳者を手配すること。
- (コ) 招聘者には受注者より、日当、訪日外国人向け海外旅行保険、記念品、お土産を提供する。  
なお、金額等は発注者と協議のうえ決定する。

ウ ダバオ市への専門家派遣業務

訪日研修の内容を踏まえ、現地関係者らと協議・意見交換・ワークショップの開催等を行うため、現地への専門家派遣を行う。適切な技術を有する者（概ね、2名とする）を人選すること。渡航日数は、概ね、1週間程度とする。専門家の旅費や謝金を含む招聘費及び現地活動に係る費用（現地車両費、通訳費等）など、専門家派遣業務実施にかかる費用はすべて委託料に含む。現地での活動内容については、発注者と協議すること。

(3) 履行期間

契約締結日～令和8年2月28日まで

3 応募要件

(1) 基本的要件

- ア 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しない者であること。
- イ 北九州市物品等供給契約の競争入札参加者の資格及び審査等に関する規則(平成7年北九州市規則第11号)第6条第1項の有資格業者名簿(以下「有資格業者名簿」という。)に記載されていること。
- ウ 有資格業者名簿において「A」等級に格付けされていること、及び有資格業者名簿に記載されている本店所在地(又は受任地)が北九州市内であること。
- エ 本市から指名停止を受けている期間中でないこと。

(2) 基本的要件以外の要件

- ア 日本国内における廃棄物に関する知見があること。
- イ 海外における廃棄物に関する事業を実施した経験があること。  
※フィリピン共和国での経験が望ましい。
- ウ 訪日研修や専門家派遣でのロジスティクス業務の経験があること。
- エ 北九州市の廃棄物管理やリサイクル技術に関する深い知見があること、又は業務開始時までに十分理解できること。
- オ フィリピン共和国での廃棄物管理や、廃棄物焼却発電施設導入に向けた動きに関する深い知見があること、又は業務開始時までに十分理解できること。
- カ 国又は地方公共団体等で類似業務を行った経験、実績を有すること。
- キ ア～カについて、要件を確認できる書類及び貴社の概要が分かる書類が提出できること。

4 手続き等

(1) 契約担当課(問い合わせ先)

住所 北九州市八幡東区平野一丁目1-1 国際交流センター3階  
担当課名 北九州市環境局環境国際戦略課(アジアカーボンニュートラルセンター)  
電話番号 093-662-4020 FAX番号 093-662-4021

(2) 説明書に対する質問受付及び回答

ア 受付期間

令和7年3月14日から令和7年3月31日まで(閉庁日を除く。)の毎日、8時30分から17時15分まで。

イ 受付担当課

(1)に同じ。

ウ 回答

受付担当課から回答する。

(3) 参加意思確認書の提出期間、場所及び方法

ア 提出期間

令和7年3月14日から令和7年3月31日まで（閉庁日を除く。）の毎日、8時30分から17時15分まで。

イ 提出場所

（1）に同じ。

ウ 提出方法

応募者は、別紙「参加意思確認書」に応募要件を満たすことを証する書類を作成添付し、提出期限までに直接持参すること。

（4）その他

ア 参加意思確認書が提出期限までに到達しなかった場合は、その後到達しても参加意思確認書の提出を無効とする。

イ 参加意思確認書の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

ウ 提出された参加意思確認書及びその関係書類は返却しない。

エ 提出された参加意思確認書は、審査以外提出者に無断で使用しない。

オ 参加意思確認書に虚偽の記載をした場合は、参加意思確認書の提出を無効とする。

カ 参加意思確認書を提出した者は、提出した書類に関し説明を求められた場合は、これに応じなければならない。

キ 予算その他本市の事情により、当該公募手続の中止又は当該手続により行うこととなった当該業務委託の指名競争入札又は指名型プロポーザルを中止する場合がある。

ク 参加意思確認書を提出した者に対し、審査結果を通知する。

ケ クの通知で、応募要件を満たさないとされた者は、通知をした日の翌日から起算して7日以内に、書面により、北九州市環境局環境国際戦略課長に対して、応募要件を満たさないとされた理由について説明を求めることができる。